

湖美来 通信



「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」



uture
rom
ukushima.

ふくしまから
はじめよう。

発行／猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所／福島市杉妻町2番16号
(事務局 福島県生活環境部 水・大気環境課)
TEL.024-521-7258 FAX.024-521-7927
E-mail / kosuikyo@ht-net21.ne.jp
ホームページ / <http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/top>

- 第13回猪苗代湖・裏磐梯湖沼
フォトコンテスト入賞作品 2
- 第13回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト講評/
湖美来クラブ会員募集 4
- 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
平成27年度下半期協議会活動報告 5
- おすすめスポット／寄附の御礼／編集後記 6



👑 入 選

「湖水春彩」 佐々木正志さん (郡山市)

撮影場所：猪苗代湖



👑 佳 作

「湖畔の歌声」 亀岡芳雄さん (会津若松市)

撮影場所：松原湖





第13回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト入賞作品

猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の美しい自然と良好な水環境について、多くの方々に関心と理解を深めてもらい、水環境保全の意識高揚を図ることを目的として、13回目となるフォトコンテストを開催しました。

今回も多数のご応募があり、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の風景を見事に切り取った作品が入賞作品に選ばれました。

応募作品をみていて感じるのは、猪苗代湖・裏磐梯湖沼は季節の移り変わりで様々な表情をみせるということです。その美しさを感じていただければ幸いです。

■作品募集期間：平成27年8月1日～9月30日／応募作品数：199作品



👑 最優秀賞

「凍湖の夜明け」 中川秀男さん（いわき市）

撮影場所：曾原湖

👑 優秀賞



「湖上のワンチャン雲」 伊藤留夫さん（大玉村）

撮影場所：猪苗代湖

「湖面を染める花」 笹岡伸仁さん（猪苗代町）

撮影場所：猪苗代湖



👑 入 選



「秋景」 市川明さん（福島市）

撮影場所：秋元湖



「天の川の渡し舟」 小松幸伊さん（茨城県つくば市）

撮影場所：毘沙門沼

👑 湖美来クラブ特別賞



「湖上の舞」 藤田一成さん（郡山市）

撮影場所：松原湖



「ジュンサイ摘み」 大橋吉一さん（郡山市）

撮影場所：曾原湖周辺

「日の出の湖」 佐々木俊昭さん（福島市）

撮影場所：松原湖



👑 佳 作



「星めぐる松原湖」 浅野良さん（福島市）

撮影場所：松原湖



「蒼寂」 堀越靖さん（郡山市）

撮影場所：秋元湖

「猪苗代の氷竜」 藁谷六朗さん（浅川町）

撮影場所：猪苗代湖



「銅沼投影図」 笠原壽一さん（福島市）

撮影場所：銅沼



「クライマックス」

鈴木洋一さん（会津若松市） 撮影場所：松原湖

👑
Photo
Contest



フォトコンテスト講評



猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト
審査委員長
鳴原 明寿 氏 (福島県写真連盟会長)

今年度も素晴らしい作品が皆様から寄せられました。簡単に上位作品のコメントをさせていただきます。

最優秀賞の「凍湖の夜明け」は、実像の部分を大胆に切りまして、湖面への映り込みで作品を構成しております。まばゆい朝の光を映り込みだけで表現しており、その清らかさが本当に素晴らしい作品です。

優秀賞の「湖上のワンちゃん雲」は、タイトルをしづき水ではなく雲にして、作品を雲のほうから表現しています。これにより、猪苗代湖の樹氷群をより素晴らしく発信しております。「湖面を染める花」は、水と火花を題材にして浜辺の美しさを作品全体で表現しています。水面の表現は難しいのですが、的確に捉えています。

次に入選の「天の川の渡し舟」は、

夜景の撮影は露出の関係で難しいのですが、満天の星空と湖面に映る星屑、そして静かな湖に佇むボートの姿を見事に捉えています。「湖水春彩」は、柔らかいパステルカラーの作品です。スケールの大きい風景のなかに、ソメイヨシノとはまた異なる趣の山桜を前景に捉えたところが素晴らしいです。「秋景」は、秋元湖の流れ込みのところですが、山の紅葉だけではなく草紅葉との対比を上手に切り取った作品です。

なお、本コンテストは水環境の保全がテーマであり、デジタル加工されたアートの作品はなじまないものと考えます。写真本来の原点到立ち返って、この雄大な被写体と対峙するとき、何も足さず、何もひかず、あるがままの気持ちで対峙していただければと思います。

「湖美来クラブ」会員募集中！

湖美来クラブでは、会員の方からいただいた会費をもとに、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境をきれいにするための水環境保全活動への支援など、様々な取り組みを行っています。一緒に猪苗代湖・裏磐梯湖沼をきれいになりたいという方のご入会をお待ちしております。

ご入会希望の方は、ゆうちょ銀行または郵便局窓口にて以下の口座に会費をお振り込みください。振込手数料が別途必要ですが、事務局までお問い合わせいただければ、振込手数料が無料の専用の振込用紙をお送りします。

口座：02250-1-98147

名義：猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会

年会費：2,000円（個人） 10,000円（法人）

特典：各種イベントのご案内、流域特産物の抽選プレゼントなど

お問い合わせは、県庁水・大気環境課までお願いします。

▶ 電話 024-521-7258

3月・4月
ご入会の方へ
特典！

特製卓上カレンダー
(平成28年4月～平成29年3月)を
プレゼント！



※今号で特集した、フォトコンテスト入賞作品を使用したオリジナルカレンダーです。

平成27年度 下半期協議会活動報告

10/21

猪苗代湖クリーンアクション2015
VOL.3 (福島県と共催)

猪苗代湖の北岸では、ヨシが大量に繁茂します。ヨシは、成長期には窒素やリンといった有機物を吸収して水質浄化に役立つと言われていますが、秋になり枯死すると有機物が再び水に溶け出し、水質悪化の一因となります。

そこで枯死する前に刈り取るため、ボランティアによるヨシ刈り作業を行いました。当日は168人が参加し、白鳥浜付近のヨシ群落0.3haを刈り取りました。

今回刈り取った面積はヨシ群落全体の面積からするとごく一部ですが、参加者の皆さんのてきぱきした作業で予定の範囲を無事終えることができました。作業の後は、ヨシ刈りで眺望がひらけた猪苗代湖を眺めながら豚汁をいただきました。この日は秋晴れで、青くきれいな猪苗代湖が印象的でした。



刈り取り後のヨシ原と猪苗代湖



ヨシ刈り作業の様子

11/27

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム

猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境について理解を深めてもらうため、ホテルリステル猪苗代にてフォーラムを開催しました。来場者は94名でした。

最初に「第13回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト」の受賞者表彰を行ったあと、新潟大学名誉教授・NPO法人新



講演のようす



フォトコンテストの表彰式

潟水辺の会顧問の大熊孝先生による講演を行いました。川が地域文化のなかで果たしてきた役割や、環境を守りながら川を利用していくことの難しさについて、豊富な事例を紹介しながらご講演いただきました。

続いて、猪苗代湖・裏磐梯湖沼流域で活動する3つの水環境保全団体が発表を行いました。猪苗代湖のヒシについての調査結果や環境学習のようすなど、活動成果の報告に熱が入りました。



外観



内部の様子

平成28年4月オープン!

猪苗代水環境センター

(猪苗代町)

猪苗代水環境センターは、福島県が整備をすすめている福島県環境創造センター(三春町)の附属施設で、平成28年4月に開所予定です。野口英世記念館の近く、湖畔に近い場所に立地しています。

県では、この施設を拠点に猪苗代湖・裏磐梯湖沼に関する環境学習や水質調査等を行っていく予定です。内部には環境学習や展示のためのホールがあり、環境関係の図書も備えています。誰でも自由に入ることができますので、お気軽にお立ち寄りください。

施設に関するお問い合わせ
福島県環境創造センター

▶ 電話 0247-61-6111

水環境に関するお問い合わせ

福島県生活環境部水・大気環境課

▶ 電話 024-521-7258



※一万円以上の寄附について掲載させていただきました。他にも多くの方から寄附をいただいておりますことに御礼申し上げます。

イオンスーパーセンター(株)様 (岩手県盛岡市)

イオンリテール(株)様 (千葉県千葉市)

(株)大東銀行様 (福島県郡山市)

国際ロータリー第2530地区様 (福島県郡山市)

サントリー酒類(株)様 (宮城県仙台市)

(50音順)

湖美来基金に対し、ご寄附をいただきました。ありがとうございました。



- 編集後記

今回のフォトコンテストでは、厳冬の曽原湖の湖面を写した「凍湖の夜明け」が最優秀賞となりました。猪苗代湖・裏磐梯湖沼流域では、しびき氷をはじめ、美しい雪景色を見ることが出来ます。フォトコンテストの応募作品でも雪景色を写したものがたくさんあり、カメラマンにとって人気の題材のようです。厳しい冬の晴れ間に見ると、よりいっそうきれいな景色に見えるのかもしれない。

猪苗代湖・裏磐梯湖沼流域の桜の開花は県内の他地域よりやや遅く、4月下旬から5月上旬頃が見頃となります。長い冬が終わり春の訪れを感じる季節が間もなくやってきます。その一方で、雪が溶けると冬の間に流れ着いたごみが湖畔に姿を現します。水環境保全活動の季節がまた幕を開けます。